

入選

ぼくの見た小さな親切

群馬県 額部小学校 四年
穴原 蓮斗

ぼくは、夏休みに家族でスーパーマーケットに買い物に行きました。その日は土用のうしの日で、ぼくの大好きなうなぎを買いました。うなぎコーナーは、たくさんの人がうなぎを見ていて、ほかのお客さんとゆずり合いながらうなぎを選んで、特大うなぎを買ってもらいました。

うなぎを選んだ後は、パパ用にステーキを選びにお肉コーナーに行きました。お肉コーナーは、うなぎコーナーよりこんでいなかったけれど、お肉を選ぶ人もたくさんいました。パパ用にステーキも選べて、よかったです。

ひと通りスーパーをまわって、買い物をした後、レジへ向かいました。レジで順番にならんでお会計をするのを待っていると、となりのレジでお会計をしていたおばあさんが1円玉を落としてしまいました。

レジにいた店員さんも、おばあさんがお金を落としたのに気がついて、拾いに出てこようとしていましたが、おばあさんが落とした1円玉は、となりのレジにならんでいたぼくたちのところまで、転がってきました。

ちょうど妹の足もとに転がってきて、妹が1円玉を拾いました。おばあさんは、転がっていく1円玉を足で止めて拾おうとしましたが、止められず困っている様子でした。となりのレジにならんでいるぼくたちのところまで、1円玉が転がってきたと知って、おばあさんはおどろいた顔をしていました。

妹が拾った1円玉をおばあさんにわたすと、おばあさんはにっこり笑って、

「ありがとうございます。」と言ってくれました。

妹もおばあさんに、

「どういたしまして。」

と言うと、二人ともニコニコ笑って、うれしそうな顔をしていました。

おばあさんの1円玉がなくならずに拾ってあげる事ができて、妹のとなりで見ていたぼくもとてもうれしい気持ちになりました。

親切にしてあげると、自分も相手もとてもいい気持ちになると、あらためて感じました。なにげない親切ができる人になれるように、これからも友達や家族、みんなの気持ちを考えて行動していきたいと思います。

おばあさんに親切にした日の夕飯のうなぎは、いつもよりとってもおいしかったです。